

第 1 回 枚方市総合交通計画協議会での意見（協議会 6/7 開催分）

意見の概要	意見の反映等	
5-2 データでみる枚方市の交通現況について		
移動は市外も関係しているの、データの分析については、市内を分割するだけでなく、移動特性等の地域でつなぎ合わせるなどの整理が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の拠点を設定し、その交流機会を高める基盤として交通を確保、維持する 	視点 2
子育て世代と実際子育てしている人は異なる。分析等に工夫が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ※ 子育て世代の移動状況等についてアンケート調査を実施 ・ 誰もが安全・安心で快適に移動でき、過度に自家用車に依存しなくても移動できるまちづくり 	視点 3
その他		
都市計画道路の廃止を行っているが、廃止した道路の位置と廃止後そこに何か対策をしたのかという資料を提示してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路空間の再配分 ・ 安全で快適な歩行や自転車通行空間の確保、 ・ 駅周辺の歩行環境の改善 ・ 道路の役割分担の明確化 	視点 4
既存の取組みである「バス！のってスタンプラリー」などの公共交通利用促進活動も交通計画の中に位置付けてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通の利用促進 	視点 3
高齢者の公共交通運賃を安く、もしくは無料にするなどでおでかけ機会を増やし、健康促進、医療費抑制などにつなげてはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ※ 現在、本市では、福祉施策として高齢者外出支援事業を実施 ・ 公共交通が生み出す価値を社会全体の支出抑制効果で判断する必要 ・ 公共交通への「赤字支援」ではなく「おでかけ機会を広げる投資」と捉えた支援策の検討 	視点 3
コンパクトプラスネットワークの考え方で、ネットワークを路面電車とし、車両を含めたインフラは公共で、運営は民間でなどとすれば採算がとれるのではないかと。またまって住んだほうが福祉もやり易いのではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな公共交通の検討 	視点 3
渋滞が課題。信号や歩行者分離などで緩和する必要があるのではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 局所的な渋滞箇所のための交差点改良や右折レーン設置など費用対効果の高い取組み 	視点 4
現状の路線バスでは行けない公共施設やバス利用が不便な地域がある。高齢化が進展する中で、路線バスの充実やコミュニティバスの運行などで市民の移動を支えてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の課題解決に向けた協議組織の設置（地域主体型交通の導入サポートなど） 	視点 1
バス利用を促進するのであれば、バスを使う機会を増やす、公共施設へつなぐなど不採算路線をどう補うかなども必要ではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス路線の再編 ・ 公共交通の利用促進 	視点 2 視点 3
自転車の通行空間が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ※ 今年度、本市において自転車通行空間ネットワーク計画を検討策定中 ・ 安全で快適な歩行や自転車通行空間の確保 ・ 道路空間の再配分 ・ 道路の役割分担の明確化 	視点 4
自転車通行帯は造るだけでなく、安全に使うルールなどの周知が大切。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車、歩行者など交通マナーの啓発やルールづくり 	視点 1

<p>自転車条例が必要。</p>	<p>※ 平成 28 年 7 月 1 日「大阪府自転車条例」施行 ・ 自転車、歩行者など交通マナーの啓発やルールづくり</p>	<p>視点 1</p>
<p>のぞましい都市像に向けた理念や方針では、その実現主体についてもふれていく必要がある。</p>	<p>※ 資料 4 交通まちづくりの実現主体参照 ・ 課題解決に向けた協議する組織の設置</p>	<p>視点 1</p>
<p>事業所アンケートは、市内を車で配送しているなど地域で事業活動をされている事業者も対象としてはどうか。</p>	<p>※ 委員に調査へご協力をいただき、地域で事業活動をされている事業者の方もアンケートの対象とし調査を実施</p>	<p>—</p>
<p>現在、行なわれている市民病院前の工事の最終形はどうか。</p>	<p>(府道の図面を用いて個別回答済)</p>	<p>—</p>
<p>市内のどの地域で、どのエリアで、どのような年代の方、家族構成の方が転入、転出されたのか、そういった細かなデータを、今後の交通施策に反映できればよいのではないか。</p>	<p>※ 策定検討中の立地適正化計画における現状と課題を参照 ・ 地域の拠点を設定し、その交流機会を高める基盤として交通を確保、維持する</p>	<p>視点 2</p>